

4. 3連携大学3年生における今年度実施した授業について

平成25年度 ITを活用した授業スケジュール

岩手医科大学歯学部3年生に対する授業計画

授業(回) (90分)	期間・内容				
	年月日	時限	学習項目	到達目標	担当
授業1	平成25年 6月7日(金)	1	高血圧症	高齢者に多く見られる高血圧症を合併した歯科患者への対応法を学習する。 1. 高血圧のWHO分類を概説できる。 2. 高血圧症患者の評価法を説明できる。 3. 高血圧症の合併症を列挙できる。 4. 循環器疾患を有する患者の予備力を評価できる。	・城茂治教授(歯科麻酔学分野)
授業2	平成25年 6月12日(水)	1	高齢化社会と歯科医療1	超高齢社会を迎えるにあたって歯科医師に必要な社会的背景を学習する。 1. 日本の高齢化率、将来人口推計を概説できる。 2. 超高齢化社会と医療費の三要素の変化について概説できる。 3. 超高齢社会における医療・歯科医療の連携の必要性について学習する。	・城茂治教授(歯科麻酔学分野)
授業3	平成25年 6月14日(金)	1	高齢化社会と歯科医療2	超高齢社会を迎えるにあたって歯科医師として必要な高齢者について学習する。 1. 高齢者の(身体的、心理的)特徴を列挙できる。 2. 高齢者の機能的変化を列挙できる。 3. 心理的要因、身体的要因、社会・環境要因から老いの変化に付いて概説できる。	・城茂治教授(歯科麻酔学分野) ・近藤尚知教授(補綴・インプラント学講座)
授業4	平成25年 6月19日(水)	1	高齢化社会とチーム医療	高齢者の特徴を学習する。 1. 高齢者の動画を見て高齢者の身体的特徴を列挙する。 2. 高齢者に多く見られる全身疾患を列挙できる。 3. 高齢者におく見られる疾患の特徴を説明できる。 4. 死因別にみた死亡率の推移から高齢者の疾患について概説できる。	・藤村朗教授(機能形態学分野) ・須和部京介(歯周療法学分野)
授業5	平成25年 6月21日(金)	1	高齢者の口腔疾患	高齢者の口腔の変化、特に口腔乾燥症について学習する。 1. 唾液について概説できる。 2. 口腔乾燥症の成因を列挙できる。 3. 口腔乾燥症による影響を列挙できる。	・熊谷章子助教(口腔外科学分野)
授業6	平成25年 6月28日(金)	1	高齢者の口腔疾患	高齢者の口腔の変化、特に口腔乾燥症について学習する。 1. 唾液の分泌に影響を与える因子について説明できる。 2. 口腔乾燥症の口腔内症状を列挙できる。 3. 口腔乾燥症と基礎疾患との関連について説明できる	・小林琢也講師(補綴・インプラント学講座)

北海道医療大学歯学部5年生に対する授業計画

授業(回) (80分)	期間・内容				
	年月日	時限	学習項目	到達目標	担当
授業1	平成25年 9月27日(金)	2	超高齢社会とチーム医療1	歯科外来に通院する高齢者像を通じ、高齢者の心理的・身体的な特徴を概説できる。	咬合再建補綴
授業2	平成25年 10月18日(水)	5	超高齢社会とチーム医療2	実際に行われている高齢者の歯科診療を通じて、口腔と全身の関連について学習する。高齢者の疾患と死因の特徴について概説できる。	咬合再建補綴

4. 3連携大学3年生における今年度実施した授業について

昭和大学歯学部3年生に対する授業計画

授業(回) (90分)	期間・内容				
	年月日	時限	学習項目	学習内容	担当
授業1	平成25年 9月10日(火)	1	全身がわかる 歯科医師が なぜ必要か?	日本の高齢化率、将来人口推計から今後の日本の社会と医療を考える。高齢者の身体的、心理学的特徴と高頻度に見られる基礎疾患と口腔疾患を学ぶ。ビデオを通じて、歯科診療と全身状態との関連について考える。	・片岡竜太教授(歯学教育学) ・弘中祥司教授(口腔衛生学)
授業2		2			
授業3	平成25年 9月17日(火)	1	脳梗塞を発症した患者から、医療の仕組みを学ぶ	脳梗塞を発症し、入院加療の後に、自宅療養中の患者の歯科受診を通して、医療・歯科医療の仕組みと連携を学ぶ。チーム医療の基本(構成メンバーと役割)および歯科が担う口腔ケアの目的を学ぶ。	・弘中祥司教授(口腔衛生学)
授業4		2			
授業5	平成25年 9月24日(火)	1	口腔乾燥症と疾患①	唾液・唾液分泌機能について、基本的事項をe-learningで学ぶ。基礎疾患を有する患者のシナリオを用いてSmall Group Discussionにより唾液分泌に影響を与える因子とそのメカニズムについて学習する。	・美島健二教授(口腔病理学)
授業6		2			
授業7	平成25年 10月1日(火)	1	口腔乾燥症と疾患②	グループで課題に対する説明を考え発表する。発表後、e-learningとリソース講義により唾液・唾液分泌における基本的事項の確認、基礎疾患と唾液分泌障害の関連性について理解する。口腔乾燥症の患者に対する口腔ケアについて学ぶ。	・美島健二教授(口腔病理学)
授業8		2			
授業9	平成25年 10月1日(火)	3	口腔診察・検査実習と疾患	唾液分泌能(ガム、サクソテスト)、口腔乾燥度、細菌数、嚥下機能、および咬合力の測定を学生相互で実施し、結果をカルテに記入する。異常値が得られた場合、原因や原疾患についてe-learningで学ぶ。これらの検査を活用したD5病棟実習についてリソース講義で学ぶ。	・美島健二教授(口腔病理学) ・田中準一 助教(口腔病理学) ・井上富雄教授(口腔生理学) ・中村史朗講師(口腔生理学) ・望月文字助教(口腔生理学) ・桑田啓貴教授(口腔微生物) ・森崎弘史 講師(口腔微生物)
授業10		4			